

(4) 財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
 - ① 満期保有目的の債券
償却原価法(定額法)によっている。
- (2) 固定資産の減価償却の方法
定額法によっている。
- (3) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込方式により行っている。

2. 会計方針の変更

該当なし

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	87,345,978	97,100,000	87,345,978	97,100,000
定期預金	9,100,000	0	9,100,000	0
普通預金	654,022	0	654,022	0
特定資産				
車両運搬具	1			1
合 計	97,100,001	97,100,000	97,100,000	97,100,001

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
基本財産				
投資有価証券	97,100,000	97,100,000		
定期預金	0	0		
普通預金	0	0		
特定資産				
車両運搬具	1	0	1	
合 計	97,100,001	97,100,000	1	0

5. 担保に供している資産

該当なし

6. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
車両運搬具	4,617,900	4,617,899	1
什器備品			
合 計	4,617,900	4,617,899	1

7. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は次のとおりである。

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
国債	97,100,510	95,082,000	△ 2,018,510
合 計	97,100,510	95,082,000	△ 2,018,510

8. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

補助金等の名称	交付者	前期末 残高	当 期 増加額	当 期 減少額	当期末 残高	貸借対照表上 の記載区分
補助金						
地方公共団体補助金収入						
運営費補助金	黒部市	0	3,056,000	3,056,000	0	
少年・少女(スポーツ少年団)	黒部市	0	855,000	855,000	0	
市民スキー大会	黒部市	0	304,000	304,000	0	
指導者資格取得補助金	黒部市	0	10,000	10,000	0	
エブリバディスポーツデー	黒部市	0	830,000	830,000	0	
県民スポーツ大会	黒部市	0	534,000	534,000	0	
ちびっこ・わんぱく教室	黒部市	0	860,000	860,000	0	
幼児期体力づくり	黒部市	0	355,000	355,000	0	
市体育協会設立70年記念講演会	黒部市	0	1,000,000	1,000,000	0	
民間補助金収入						
県体育協会 県民体育大会	県ス協	0	140,000	140,000	0	
エンジョイスポーツサポート事業	県ス協	0	50,000	50,000	0	
働き方改革推進支援	県労働局	0	708,000	708,000	0	
合 計		0	8,702,000	8,702,000	0	

9. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

内 容	金 額
経常収益への振替額	
受取補助金	0
基本財産運用益	306,684
合 計	306,684

10. 関連当事者との取引の内容

該当なし

11. 重要な後発事象

該当なし

(5) 附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細については、財務諸表の注記に記載している。